

平成28年度第1回向日市ふるさと創生計画委員会 議事要点録

日 時：平成28年8月1日（月）午前10時から11時30分まで

場 所：向日市役所本館3階 大会議室

出席者：（委員）

中村委員長、大塚副委員長、高橋委員、南委員、東委員、森田委員、山舗委員

池田委員、松井委員

（事務局）

今西市長公室長、松山総務部財政課長、川本市民生活部副部長、水上健康福祉部福祉政策監、福岡建設産業部副部長、栃下上下水道部長、小賀野教育部長、渡辺教育部副部長、林市長公室副室長、長谷川企画調整課長、鹿島担当課長、内海主任

（傍聴）1人

内 容：以下のとおり

1 開会

○市長あいさつ

お忙しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

本計画は、社会情勢や進捗状況に応じて柔軟に改善しながら進めていきたいと考えています。

本日は、現在の状況等について説明し、今後私たちが進むべき道を考えながら、ご助言をいただきたいと思います。

年度が進むにつれて素晴らしい計画となるよう頑張っていきたいと考えています。

2 議題

○ふるさと向日市創生計画の推進について

－事務局から資料説明－

- ・ 計画の進捗状況等について概ね順調に進んでいる旨説明。また、完了した事例や、計画以上に順調あるいは難航している事例を説明。

（委員）

- ・ 歴史文化交流センターの入館者数はどの程度か。また、どのように広報しているのか。

（事務局）

- ・ 入館者数はまだはっきりした数字は把握していない。広報紙やHPで周知している。体育館入口には看板を設置しているが、道路にはしていない。今後力を入れていきたい。

（委員）

- ・ 市民はもちろん、市外の方にも見てもらうことも大事である。

（事務局）

- ・ 体育館は市外からも訪れる方が多い施設なので、市外の方にもPRできる拠点になると考えている。

（委員）

- ・ 徘徊SOSネットワーク協力事業所というのは、どんな業種が対象なのか。業種が絞られていることで拡大が困難なのか。

（事務局）

- ・ 行政機関や学校、保育所、介護保険サービス事業所、医療機関、NPO法人、郵便局、新

聞販売所、コンビニ、スーパー等、かなり幅広い業種に協力を呼びかけている。金融機関にも呼びかけている。平成27年度に協力事業所数が減少になったのは、事業所を廃業したり、あるいは対応できる従業員が減ったといった理由である。

(委員長)

- ・ 認知症に関して同様の取組みはあるか。

(事務局)

- ・ 認知症サポーター養成講座を数年前から実施している。中学生も受講する等、幅広い年齢層で取組みを行っている。

(委員長)

- ・ 廃業で件数が減少する一方なら、市内事業所の何%がやっているのかのような形で数値を把握することも一つの方法ではないか。

(事務局)

- ・ 参考にさせていただく。

(委員)

- ・ 歴史文化交流拠点について、人が集まる場所よりも駅を中心に展開する方が良いのでは。アプローチの方法も、歩きしかないのか、レンタサイクルがあるのか等、駅を出てすぐわかると良い。団体旅行ならガイドがいるので大丈夫だが、個人旅行の方でも駅を出てどうスタートすべきかわかりやすい案内板があると良い。

(委員長)

- ・ 観光振興プラン策定中だと思うが、このような意見は反映されているか。

(事務局)

- ・ 歴史文化交流センターについては、人が一番多く来る場所ということに目をつけ、体育館に整備した。同センターから、案内や誘導をして文化資料館まで来てもらうことを目指している。
- ・ JR向日町駅前には平成28年度に案内板設置を予定している。阪急東向日駅、西向日駅は、駅周辺整備について阪急電鉄と協議をしており、その進捗を見ながら設置を進めたい。観光振興プランの中ではまだ具体的な位置等を決める段階には至っていない。

(委員長)

- ・ 観光については、この委員会とは別に観光振興プランの策定が進められている。

(委員)

- ・ JR向日町駅の北に駐車場ができるのか。

(事務局)

- ・ 駐車場になるかどうか決まったわけではない。もともと物集女街道道路拡幅整備の代替用地として取得した土地があり、新聞に載ったのは隣接する国有地の話である。それについては取得できるかどうか未定である。

(委員)

- ・ 住宅用火災警報器の設置率は、地域を抜粋して実施しているのか。

(事務局)

- ・ 全地域の中で100件くらいを無作為抽出して調査している。

(委員長)

- ・ 地域によって設置率にばらつきがあるということか。

(事務局)

- ・ 例えば、新しいマンションがある地域だと設置率は高くなる。

(委員)

- ・ 設置率が低いところに啓発していくのか。

(事務局)

- ・ 消防組合で設置率の低いところを把握していると思うので、そこを重点的に啓発する等して設置率を高めていくことになると思う。

(委員)

- ・ 進捗の話だが、次年度以降着手予定の場合は、未着手としてCにしてはどうか。

(事務局)

- ・ 計画が始まったばかりというところで、予定としては平成28年度から実施するというところで計画どおりに進めるという意味でまとめている。

(委員長)

- ・ 平成28年度から進めるという計画にもともとなっていてということか。その準備は進んでいるということか。

(事務局)

- ・ 平成28年度から進めるという予定で、その事前準備をしている段階のものであるということでもまとめている。

(委員)

- ・ まったく何もしていないのではなく、事前準備等をしているので、未着手とは違うということか。

(委員)

- ・ それは未着手だと思う。未着手として整理した方が、信頼性があがると思うが。

(事務局)

- ・ まず何かしら着手してみるというのが市長の姿勢であり、そういう指示が出ている。内部で研究している段階であっても、何らかのとっかかりは作っているという状況である。

(委員長)

- ・ 市民の方にわかりやすいように、表記等を工夫する必要がある。

(委員)

- ・ 目指す姿・目標について、平成27年度実績数値が減少していてもBになる場合もあればAになる場合もあるのか。

(事務局)

- ・ 減少していても、もともとある程度減少することが見込まれており、それが想定の下がり幅の範囲内であればA、想定以上に悪化していればBとして区別している。

(委員)

- ・ 逆に、数値が増加している場合において、増加していればすべてAか。

(事務局)

- ・ 平均的に増加していく場合もあれば、最初は控えめで後から大きく増加する場合もあり、それぞれに応じて計画どおりか判断する。

(委員)

- ・ Facebook ページを開設して、市民の方等からの反応はあったか。

(事務局)

- ・ 昨年7月15日から開設して、いいね！が441件あるなど、皆様に見てもらえていると考えている。
- ・ 今年の7月の状況では、3本の記事を掲載して、見た人が3086人、シェアやコメントをされた件数が235件であった。
- ・ 向日市まつりの開会式をビデオでリアルタイムで流したところ、それを見て来場された方がおられ、効果的に情報発信できたと考えている。

(委員)

- ・ Facebook は「済」ではないのでは。これからも継続していくものであろう。メンテナンスもある。

(委員長)

- ・ 開設が完了したということで「済」ということか。

(事務局)

- ・ 開設ができたという意味である。

(委員長)

- ・ 情報発信の仕方はどんどん変化してきている。話題のポケモンGOを利用した商店街振興もある。
- ・ 案内板の話にも関連するが、例えば長岡宮跡が向日市にあることをPRする方法として、実際に看板を建てる以外にも、地図データ上に情報を表示させるということもできる。商店の情報にしても、自分で入力する必要があるが、地図データ上に表示させることができる。色々な情報の出し方、流れ方を実験してみてもいい。

(委員)

- ・ 特定保健指導の実施率について、目指す数値は100%とする方が良いのでは。

(事務局)

- ・ 特定保健指導は国保に加入している40歳以上の方を健診し、必要な方に指導を実施している。本市は府内でトップクラスの実施率ではある。他自治体でも苦勞していて、体に良くないところがあってもなかなか指導を受けようと思ってもらえないという現状の中で、かなり頑張っている。

(委員)

- ・ 訪問指導というのは、各家庭に出向いて実施するということか。

(事務局)

- ・ 各家庭に行ったり、一箇所に集まってもらったりして実施している。

○地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）活用事業実績について —事務局から資料説明—

- ・ 本交付金を活用して実施した事業の実績について説明。

(委員)

- ・ 第1次加速化交付金が府内で本市だけが交付されなかったことについて市民の関心も高いと思うが、理由は何なのか。

(事務局)

- ・ 国に問い合わせても、ストーリー性がないとのことで、はっきりした答えがない。

(委員長)

- ・ 他自治体でも、不採択のはっきりした説明はなかったという話を聞く。本日の議題は加速化交付金ではなく、先行型交付金。先行型交付金事業についての意見はあるか。

(委員)

- ・ 創業支援事業で新規出店したのはどのような業種の店か。また、どういう相談が多かったのか。また、婚活事業の成立カップル数7というのは、ペアになった数か、結婚した数か。

(事務局)

- ・ 新規出店は、主に飲食業であった。相談としては、色々あったが、出店にあたっての宣伝方法等があった。資金的な支援をした上で、各種相談に応じたというかたちである。
- ・ 婚活事業のカップル数は、ペアになった数である。

(委員)

- ・ 結婚に至ったカップルから連絡はくるようになっているか。

(事務局)

- ・ なっているが、今のところ連絡はない。
- ・ 今年も実施する。

(委員)

- ・ 観光入込客数も竹の径の入込客数も大きく増えているが、この要因は何か。

(事務局)

- ・ 竹の径で行うかぐやの夕べを、京都市と合同開催している竹結びフェスタと同日開催したこと、また飲食店ブースやビアガーデンを設置したこと等によって増加したと考えている。今年は2日間、開催する予定。

(委員)

- ・ 竹の径が好きでよく行くが、向日市側はよく整備されていてきれいだが、京都市側が乱雑に感じる。京都市に働きかける必要がある。

(事務局)

- ・ 京都市の担当者にもそういった意見を伝えている。

(委員)

- ・ 一緒にフェスタをするのなら、京都市も力を入れないと竹の径のきれいさが十分に発揮されないと思う。

(事務局)

- ・ 一昨年、京都市と相互交流宣言を調印しており、観光も含む色々な分野で協力していくことを確認しあった。これに基づき、竹の径の改善も図っていききたい。

(委員)

- ・ 竹の径への駅からのアプローチについて、ピストンバスがあると良いと思う。竹の径には京都市の竹の資料館があり、すごく良い資料が置いてある。

(事務局)

- ・ バスについては観光協会と連携して検討している。

(委員)

- ・ 観光について、来てくれる人が増えるのはもちろん良いことだが、経済効果が伴うとさらに良い。そういった測定はしているか。

(事務局)

- ・ 観光消費額についても、事業者等からのヒアリングで調査している。平成26年は8,700万円、平成27年は9,900万円と、13%アップした。今後も増やしていきたい。

(委員長)

- ・ たくさん訪れてもらって、たくさん消費してもらえると良い。

(委員長)

- ・ それぞれの事業について、前向きに継続・発展して進めていかれたい。

3 その他

(事務局)

- ・ 本日のご意見等を踏まえて、ふるさと向日市創生計画の推進に取り組んでいきたい。

4 閉会

平成２８年度 第１回 向日市ふるさと創生計画委員会

日 時：平成２８年８月１日(月)

午前１０時から

場 所：向日市役所本館３階 大会議室

次 第

１ 開 会

２ 議題

ふるさと向日市創生計画の推進について

３ その他

４ 閉 会

ふるさと向日市創生計画の進捗状況について

平成２８年３月に「ふるさと向日市創生計画」を策定しました。

本計画は平成２７年度からを計画期間としているため、計画策定と平行して実施した平成２７年度の実施状況等について報告します。

取組の進捗状況

区分	状況	件数	備考
済	完了	2	歴史文化拠点の整備(歴史文化交流センター) 市民に対する情報発信体制の充実 (別紙参照)
S	計画以上に進んでいる	0	
A	計画どおり進んでいる (次年度以降着手予定を含む。)	119	
B	計画より遅れている	1	木造住宅の耐震化促進 (別紙参照)
C	未着手	0	

(関連する担当課ごとに件数をカウントしているため、取組数とは一致しない。)

目指す姿・目標の達成状況

区分	状況	件数	備考
済	達成	1	防災マップの全戸配布 (別紙参照)
S	計画以上に成果がでている	5	バリアフリーに配慮した歩道の整備 特定保健指導の実施率 計画相談支援作成率 就労移行支援事業の利用者数 地域の見守りネットワーク事業協定事業所数 (別紙参照)
A	計画どおり成果がでている (次年度以降測定を含む。)	130	
B	成果がでているものの 計画よりも良くない	4	各種健康・介護予防事業参加者数 徘徊ＳＯＳネットワーク協力事業所数 火災発生件数０件 住宅用火災警報器数設置率 (別紙参照)
C	成果がでていない	0	

(※関連する担当課ごとに件数をカウントしているため、姿・目標数とは一致しない。)

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり						
施策分野1 歴史あふれるまちづくりの推進						
施策1 歴史文化資源の整備と活用						
	取組	平成27年度実績	進捗状況	進捗状況の説明	平成28年度以降予定	担当課
	歴史文化拠点の整備	本市の歴史・文化を広くPRする拠点として、市民体育館の談話コーナーであった部分を歴史文化交流センターとして整備した。	済			広報・ふるさと創生課
施策分野3 都市基盤の整備						
施策2 快適で安全便利なまちづくり						
	取組	平成27年度実績	進捗状況	進捗状況の説明	平成28年度以降予定	担当課
	木造住宅の耐震化促進	木造住宅耐震化補助申請のあった簡易改修8件、本格改修9件に対して補助金を交付し支援した。 3月を耐震強化月間と位置付け、啓発に努め、新たに診断6件、簡易改修1件の申請があった。	B	耐震強化月間を初めて設け、啓発強化に努めた結果、一定の成果を得たため。しかし、年度目標件数に達していなかった。この原因は住宅の居住者に高齢者が多いことや費用負担が伴うことが考えられる。	定期的に耐震強化月間を設け、啓発強化に努め、平成31年度に目標である耐震化率95%の達成を目指す。	公園住宅課
施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり						
施策分野1 市民協働の推進						
施策1 市民のまちづくり参加の仕組みの構築						
	取組	平成27年度実績	進捗状況	進捗状況の説明	平成28年度以降予定	担当課
	市民に対する情報発信体制の充実	facebookページを開設し、イベント情報などについてSNSを活用し、市の魅力を広く発信した。	済			広報・ふるさと創生課

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野3 都市基盤の整備

施策1 道路整備の推進

目指す姿・目標	平成27年度実績	達成状況	達成状況の説明	担当課
バリアフリーに配慮した歩道の整備【10箇所整備完了(H31)】	市道第2118号線:バリアフリー特定経路の整備完了 市道第2240号線:JR向日町駅バスシェルター設置	S	・歴まち観光ルートに寄与する西国街道、駅前の美装化を合わせて進捗を図った。	道路整備課

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野2 健康づくりの推進

施策1 生活習慣病予防による健康生活への支援

目指す姿・目標	平成27年度実績	達成状況	達成状況の説明	担当課
特定保健指導の実施率【H26:26.9% → H31:35%】	42%の見込み(中間報告) 法定報告は平成28年11月頃に報告される予定	S	これまでの相談、教室での指導に加え、積極的に訪問実施したことにより実施率が大幅に増加している。	健康推進課

施策分野3 高齢者が安心して暮らせる体制の充実

施策1 地域包括ケアシステムの推進

目指す姿・目標	平成27年度実績	達成状況	達成状況の説明	担当課
各種健康・介護予防事業参加者数【H26:12,043人 → H31:12,400人】	11,704人	B	参加対象者の少ない事業があったため、前年に比し参加者数が減少した。今後、総合事業開始と合わせ、予防事業の事業内容を再検討する。	高齢介護課

施策2 認知症施策の推進

目指す姿・目標	平成27年度実績	達成状況	達成状況の説明	担当課
徘徊SOSネットワーク協力事業所数【H26:166箇所 → H31:220箇所】	157箇所	B	新規事業所への協力依頼を行ったが、既存事業所の廃止等の影響により、協力事業所数は減少した。	高齢介護課

施策分野4 障がい者福祉の充実					
施策1 安心して暮らし続けられる共生社会の実現					
目指す姿・目標		平成27年度実績	達成状況	達成状況の説明	担当課
計画相談支援 作成率【H26:91.2% → H31:100%】		100%	S	・全ての必要な方にプランを作成できるよう、相談支援事業所への指導を行う等相談支援を強化した結果、サービス等利用計画・障害児支援利用計画策定率100%を達成した。 ・今後も引き続き100%を維持できるよう支援を継続していく。	障がい者支援課
就労移行支援事業の利用者数【H26:7人 → H31:11人】		19人	S	・障がい者の就労意欲が近年急速に高まっている中、相談支援等を通じて、就労移行支援事業の利用実人数が増加した。 ・受け皿(就労先・就労支援事業所)も増加している。 ・利用者数は達成したが、今後も引き続き同水準以上を維持できるよう施策を推進していく。	障がい者支援課
施策分野5 地域福祉の充実					
施策1 福祉のまちづくりの推進					
目指す姿・目標		平成27年度実績	達成状況	達成状況の説明	担当課
地域の見守りネットワーク事業協定事業者数【H26:1事業者 → H31:6事業者】		5事業者	S	京都府が進める地域住民、行政と事業者等が連携し、地域の安心安全な暮らしの確保などを目的とし実施している「山城絆ネット」を活用し、府市連携により複数事業者との協定をまとめて締結することができたことから、目標値の達成に向け、大きく進めることができた。	高齢介護課
施策分野7 生活の安心・安全の確保					
施策3 防災力・防犯力の強化					
目指す姿・目標		平成27年度実績	達成状況	達成状況の説明	担当課
防災マップの全戸配布		新たに内水ハザードマップを加えた防災マップ30,000部を作成した。	済	平成28年5月市内各戸配布済	防災安全課
施策分野8 消防・救急体制の強化					
施策2 火災予防意識の徹底					
目指す姿・目標		平成27年度実績	達成状況	達成状況の説明	担当課
火災発生件数0件		8件	B	春・秋の火災予防運動、危険物安全週間に伴う火災予防運動、年末特別警戒、火災気象通報の発令に伴う火災予防広報等を実施した。これまで同様、火災発生件数0の町を目指して予防運動の継続を行った。	向日消防
住宅用火災警報器数設置率【H26:79.8% → H31:85%】		75%	B	調査地域により差が出てしまうため、数値の低下は許容範囲と考えられる。今後も、設置率100%を目指して広報活動に励んでいきたい。	向日消防

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)活用事業実績について

資料 2

- 本交付金は、地方公共団体による地方版総合戦略の策定及び策定に先駆けて実施する事業を支援するため国によって平成27年度に交付されたものです。
- 本交付金を活用した事業の効果については、目標数値を設定し、その達成度合いを検証することが求められていることから、本交付金を活用した次の事業について検証を実施するものです。

交付対象事業名	事業概要	事業実績	事業実績額	目標/実績数値 (H28年3月)	評価
保育環境向上 支援事業	本市北部地域の開発(阪急洛西口駅東地区土地区画整理事業)に伴い、新たな若い世代の人口流入によりより良い保育への需要が高まる中、次代を担う子どもたちの健やかな成長を支援するため、また、これから家庭を築き、子どもを生みたいと思う男女がその希望を実現できるような環境づくりを進め、安心して預けられるよう保育環境を向上させ、子どもの創造性や運動能力を養い、健やかに育つよう子育て支援を行う。	保育に携わる人員の充実のため臨時職員の保育士を雇用した。 また、保育環境の整備のため、巧技台やお散歩車、アップライトピアノ等の保育備品を購入、設置した。	15,252千円	(目標数値) 待機児童0継続 ↓ (実績数値) 待機児童0	臨時職員の保育士を配置することによって保育に携わる人員が充実し、要配慮児等へのよりきめ細かい対応が可能となったほか、運動能力の向上を図るための巧技台や、低年齢児の外遊びの際の移動効率を高め、緊急時には避難車としても機能するお散歩車等の保育備品の購入により、保育環境が向上し、児童の受入れ体制を強化することができたと認められる。 →目標数値達成に有効
観光推進事業	本市には、向日神社、長岡宮跡、西国街道、古墳群、竹林などの本市固有の歴史・文化資源が豊富に存在しているが、知名度は低い。しかし、平成27年2月にこれらの風致を活用し、歴史まちづくり法に基づき国に申請した「向日市歴史的風致維持向上計画」が認定されたことから、これを契機とし、歴史・文化資源を大切に守り、育て、活用することで観光客誘致につなげる。	市内観光周遊の利便性向上を図るため、「向日市歴史文化観光情報板設置計画」を策定するとともに、市内6箇所合計7基の情報板、史跡等解説板、誘導板を設置した。 また、「竹の径」の保全・修景を行うため、工事延長331.9mの竹垣整備を実施した。	13,935千円	(目標数値) ①平成26年度 観光入込客数 (259,170人)比 2%増加 ②「竹の経」への 平成26年度 観光客入込客 数(28,828人)比 2%増加 ↓ (実績数値) ①25%増加 (324,699人) ②20%増加 (34,850人)	「竹の径」を含めた観光地点へ誘導を図る情報板、案内板等の具体的な設置計画を策定することで、今後の市内観光地点における情報板等の意匠の統一を図り、観光周遊の利便性向上と市内観光地点における観光地点の魅力づくりの基本的な整備計画とすることができた。 また、本市の主要観光地点である「竹の径」の保全整備を行うことで、観光客受入れのための修景につながった。 指標値が前年度から大幅に増加しているのは本事業も含めた総合的な観光施策の成果であり、本事業も観光の基盤を強化するものとして今後の入込客数増加に寄与していくと考えられる。 →目標数値達成に有効

交付対象事業名	事業概要	事業実績	事業実績額	目標/実績数値 (H28年3月)	評価
創業支援事業	向日市内での創業(起業)を容易にし、市内商工業等の活性化を図るため、資金や相談・指導等の必要な支援を行う。	「向日市商工会創業支援事業」として、次の事業を実施した。 ・創業支援補助金；市内で創業(起業)した6事業者に対し、事業実施に必要な経費を支援(20万円×6件) ・創業後のコンサルティング；上記補助金活用先に対し、それぞれ3回、中小企業診断士による伴走支援(経営コンサルティング)を実施した。(派遣費用；1件100,000円×6件)	2,152千円	(目標数値) 新規出店:5件 ↓ (実績数値) 6件	当初予定していた創業件数を達成し、市内のにぎわいづくりにつなげることができた。また、制度内容についても、利用者から大変好評であり、創業時において必要な販売促進等に効果的に活用できる補助制度として運用することができたと認められる。今後については、創業した事業者が継続して経営できるよう、創業計画や経営計画の策定支援も含めた離陸、伴走支援を充実させることが必要であると考えている。 →目標数値達成に有効
少子化対策支援事業	少子化対策として希望どおり結婚し、子どもが持てるようにしていくための支援を実施する。	京都市との協働事業「竹結びフェスタ2015」において、向日市、京都市の両市民を対象とした婚活「竹結び婚活」を実施した。参加者は、向日市、京都市それぞれ30人(男女各15人)の合計60人で、合計7組のカップルが成立した。	66千円	(目標数値) ①婚活参加者数:20人 ②カップリング数:2組 ↓ (実績数値) ①60人 ②7組	観光地点である「竹の径」や同所で開催した「竹結びフェスタ2015」等を活用した婚活を実施することで、事業趣旨である地域における未婚対策、地域住民交流の促進につながるとともに、「竹の径」等の誇るべき地域資源に触れることで、地域の魅力の再発見、発信の機会とすることができたと認められる。 →目標数値達成に有効
地産地消推進支援事業	農産物の販路拡大を図るため、既存の農産物直売会を定期的に行うための支援を行う。	既存の直売会の支援に加え、農業と商業の活性化を図り、農産物の地産地消推進と市内商店の賑わい創出を目的として結成された「愛菜楽座」を支援し、POSシステム活用等の新たな手法による直売事業「愛菜楽市」を開催した。開催回数；14回(向日市役所駐車場等で開催)	8,290千円	(目標数値) 当該事業含め、直売会場:市内5か所 現行4か所 ↓ (実績数値) 5か所	夏期及び冬期に開催した合計14回の直売会では、平均20戸の農家出品があり、多くの季節野菜が揃うことで、多数の来場と売上げにつながるなど、市民に広く浸透した。また、本事業は、出品農家にとってもあらたな販売チャンネルとなり、意欲をもって農業経営ができる基盤づくりの第一歩となったと思われる。 →目標数値達成に有効

向日市ふるさと創生計画委員会 委員

	役職、団体等	氏名
委員長	神戸国際大学経済学部 教授	中村 智彦
副委員長	向日市観光協会 会長	大塚 正洋
委員	向日市商工会 会長	高橋 信吾
	京都府山城広域振興局 副局長	南 且好
	京都銀行 向日町支店長	東 義明
	連合京都乙訓地域協議会 議長 (三菱電機労働組合京都支部 執行委員長)	森田 正樹
	京都リビング新聞社 編集長	山舗 恵子
	公募市民	池田 和子
	公募市民	松井 恒夫